

## 2016年3月期（第18期）決算の概要等について

株式会社札幌ドーム（以下当社）は、本日開催の定時株主総会におきまして、以下のとおり2016年3月期（第18期）の決算を報告するとともに、役員（監査役1名）が選任され、就任いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 2016年3月期（第18期）決算概要

※百万円未満および1万人未満切り捨て

○売上高	38億94百万円	（前期比5.9%増）
○経常利益	4億47百万円	（前期比9億1百万円増）
○当期純利益	3億94百万円	（前期比8億21百万円増）
○総イベント開催日数	139日	（前期比7日増）
○総利用日数（設営撤去等を含む）	285日	（前期比23日増）
○稼働率	77.9%	（前期比6.1ポイント増）
○イベント来場者数	291万人	（前期比9.5%増）
○観光来場者・一般市民利用者ほか	12万人	（前期比1.2%減）
○総来場者数	303万人	（前期比9.0%増）

・ イベントの来場者数増加に伴い貸館・商業・チケット・駐車場・広告事業がそれぞれ増収となり、売上高は38億94百万円で、大型ビジョンの更新に伴って純損失4億27百万円の赤字となった前期から一転黒字となりました。

・ 総イベント開催日数は、計12日と過去最高の開催日数となったコンサートや2年ぶりに開催された札幌モーターショー、3年ぶりに札幌ドームで開催されたプロ野球クライマックスシリーズなどの結果139日となりました。総来場者数も前期比9.0%増の303万人となり、4年ぶりに300万人を突破しました。

・ 「チケット管理システムのサーバ機器等更新」や、「札幌ドームウェブサイトの充実を目的とした改修」など、総額60百万円の設備投資を行いました。

・ 「B2階トイレの一部洋式化」や「トイレのハンドドライヤー設置」など、施設の改良工事として総額87百万円の工事等を行い、その成果物を札幌市に寄付いたしました。

・ 剰余金の処分について

①将来に渡る良好な施設設備の環境を維持するため、当社応分の費用負担に備え、「施設保全設備更新積立金」として3億50百万円（前期比50百万円増）の積立てを実施します。

②期末配当金として、1株につき1,000円、総額20百万円の配当を実施します（前期と同額）。

### 2. 役員一覧

代表取締役社長	長 沼 修	
取締役副社長	町 田 隆 敏	札幌市 副市長
代表取締役専務	島 津 貴 昭	
専務取締役	北 野 靖 尋	
取 締 役	荒 木 啓 文	札幌商工会議所 専務理事
同	山 田 範 保	北海道電力(株) 嘱託
同	土 谷 浩 昭	北海道瓦斯(株) 取締役常務執行役員
同	三 好 則 男	(株)北海道新聞社 専務取締役、総括
同	生 方 誠 司	サッポロビール(株)上席執行役員北海道本社代表 兼北海道本部長
同	井 上 幸 三	(株)電通北海道 代表取締役社長
常 勤 監 査 役	広 田 勝 信	札幌商工会議所 派遣
監 査 役	草 薨 金 矢	草薨金矢税理士事務所 所長
同	郷 雄 司	(新任) (株)北洋銀行 公務金融部長

### 3. 当社による施設改修の取り組みについて

当社の収入および利益は、公共の施設である札幌ドームの維持管理やお客さまの利便性、サービスの向上のための施設改修などを通して、市民の皆さまに還元をさせていただいております。これまでに実施した施設の改良工事などは総額約 42 億円となっております（次ページの一覧表参照）。これからも飲食・物販、広告などの自主事業収入の一部を活用して、札幌ドームが安全安心そして快適な施設となるよう、適切に施設改修などを行ってまいります。

#### ■2018 年度までに計画している主な改修工事

##### 【2F にトイレを増設します】

2F コンコースにトイレを増設します。第 1 弾として、外野側（サッカー時バックスタンド側）の 2F 多目的トイレに女性用トイレを増設し、トイレの個室数を増やします（2017 年 2 月竣工予定）。また、その他のエリアについても、新たなトイレ設置を検討していきます。

##### 【スタンドの階段手すりを増設します】

階段の上り下りの負担を軽減するため、スタンド（観客席）の階段通路の手すりを 2016 年度～2018 年度の 3 年間で順次増設し、階段の両側に手すりがあるよう改修します。新たな手すりは、試合観戦・イベント鑑賞の邪魔にならない形状のものを設置します。

##### 【場内飲食売店などで電子マネーが利用可能になります】

場内飲食売店やグッズワゴンなどで、電子マネーが利用可能になります（2017 年 3 月運用開始予定）。

#### ■札幌市が計画している主な改修工事

当社による改修工事と並行して、施設所有者の札幌市による改修工事、ならびに保全工事も行われる予定です。

サービス向上に関連する改修工事を抜粋して紹介します。

##### 【無料 Wi-Fi サービスを整備します】

札幌市の無料 Wi-Fi サービス「Sapporo City Wi-Fi」が、冬季アジア札幌大会の開会式に向けて整備されます。（2017 年 2 月運用開始予定）

##### 【アリーナ音響設備を更新します】

アリーナ音響設備（場内スピーカー）が、札幌市の札幌ドーム保全計画に基づき、2017 年 3 月までに更新されます。新たな設備は「ラインアレイスピーカー」と呼ばれるタイプを予定しており、音の臨場感やアナウンスの聞き取りやすさが向上します。また、館内に均一な音を届けることができ、スタンド内各エリアでの音量差が少なくなります。

※実施内容は変更となる場合があります。

## ■これまでに行った主な施設の改良工事等

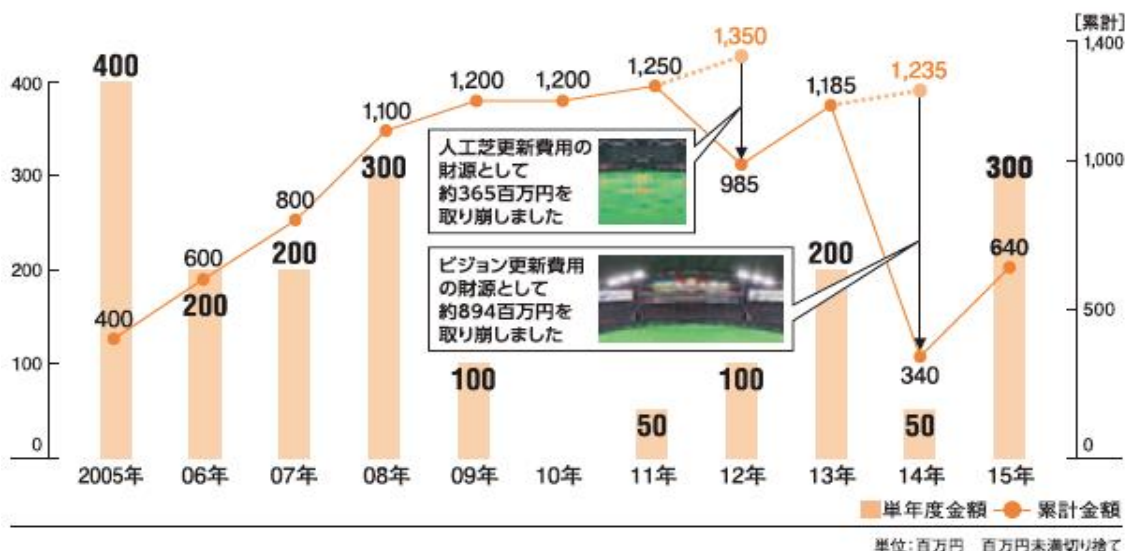
お客さまや主催者さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施してきました。

年度	主な工事	合計金額
2001年度	サイン関連工事	1億62百万円
2002年度	スタンド席手すり設置	2億81百万円
2003年度	バックネット取り換え	1億41百万円
2004年度	野球用人工芝更新 ※1回目 移動式チケット売り場設置	4億63百万円
2005年度	コミュニケーションスペース設置	1億49百万円
2006年度	大型複合遊具「キッズパーク」新設 メインスタンド（バックネット裏席）改良	3億97百万円
2007年度	車いす席改良 トイレ洗浄便座化	1億97百万円
2008年度	フィールドシート設置	2億21百万円
2009年度	1F コンコース喫煙室の売店化（現 サブウェイ）	1億65百万円
2010年度	トイレ一部洋式化改修（2014年度まで毎年実施）	65百万円
2011年度	スタンド席カップホルダー整備 バルコニーシート改修（現 スカイボックスシート）	1億97百万円
2012年度	野球用人工芝更新 ※2回目 1F コンコース喫煙室の売店化（現 築地銀だこ） 開閉式可動席手すりおよび背当て整備	5億06百万円
2013年度	グッズ☆ジャム拡張 シャトルバスターミナルなど屋外照明増強	2億80百万円
2014年度	大型ビジョン更新	8億76百万円
2015年度	トイレのハンドドライヤー設置 B2F トイレ一部洋式化改修	87百万円
合計	当社負担で実施した改良工事等の累計金額 （2001年度～2015年度実施分）	41億97百万円

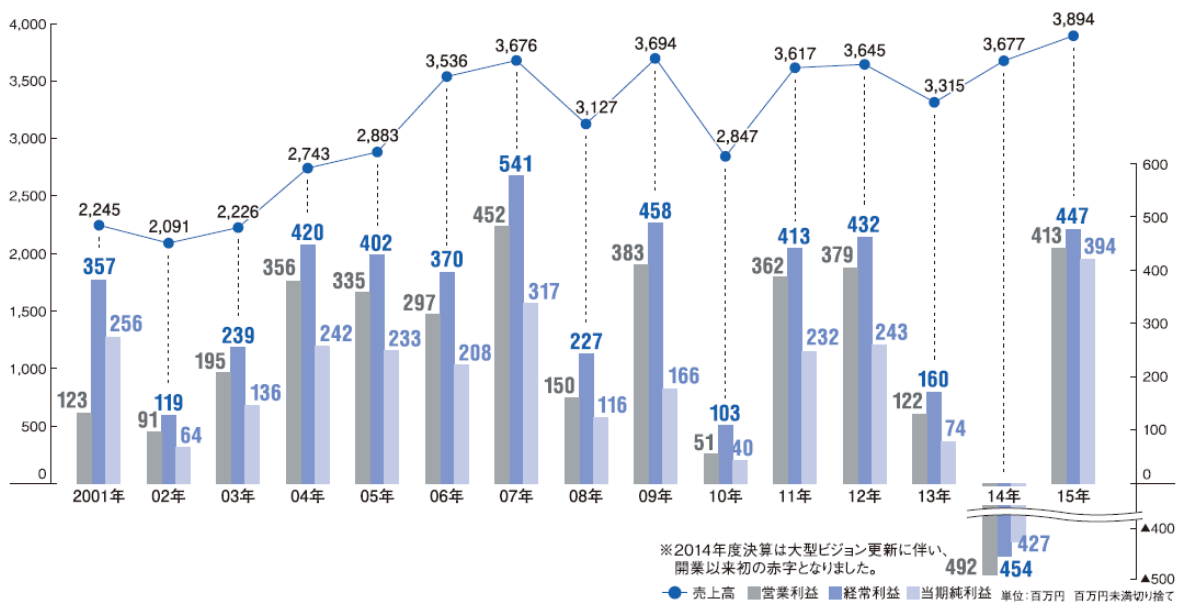
（税抜 百万円未満切り捨て）

## ■施設保全設備更新積立金の推移

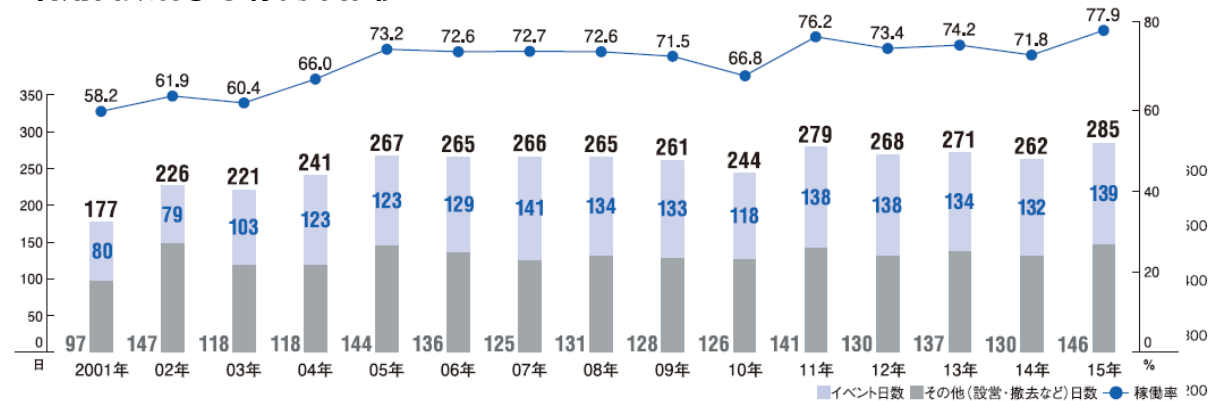
中長期的な維持保全に備えて積み立てている任意積立金の状況です。



## ■業績の推移



## ■利用日数および稼働率推移



## ■来場者数推移

